

## 「そのきもち、どんなとき？」 指導例

### 1. 本時について

○ねらい

- ①自分の「どんなとき」をグループの人に伝えることができる。
- ②友だちの「そのきもち、どんなとき？」を自分と比べながらきくことができる。

### 2. 本時の展開

| 時間 | 児童の活動                             | 指導者の動き                                                      | 指導上の留意点                                                                       |
|----|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
|    | ○あいさつ<br>○今日のめあてを聞く。              | ○あいさつ<br>○今日のめあてと話し方のルールを伝える。                               |                                                                               |
|    | <b>めあて 友だちの気持ちをききあおう</b>          |                                                             |                                                                               |
|    | ○グループの形になって、「そのきもち、どんなとき」のゲームをする。 | ・各グループの様子を見守る。                                              | ・カードを裏返して机に並べ、順番に1枚めくり、描かれている気持ちについて、どんなときかを話す。<br>・全体の振り返りで取り上げたい児童の発言に注目する。 |
|    | ○全体でふりかえりをする。                     | ・児童の発言を取り上げ、同じ気持ちになった場面を尋ねる。<br>・同じ場面で、異なる気持ちになったことがあるか尋ねる。 | ・同じ「きもちカード」でも人によっていろいろな「とき」があること、同じ場面でも人によって違う気持ちがあることなどに気づかせる。               |
|    | ○今日のふりかえりをする。                     |                                                             | ・ふりかえりカードを用意する。                                                               |

☆子どもの実態に応じて、対話を進めたり、深めたりするためにルールを追加してもよい。

例えば、「**わかる！カード**」（友だちの話に共感できた）、「**自分だったらカード**」（同じ場面で友だちと違う気持ちになった）、「**くわしくおしえてカード**」（友だちの話について質問したい）などを用意して、話をきいた人が話せる機会をつくる。